

Ⅲ 自由記述意見

※本項目は、市民の皆様から寄せられたご意見を、今後の施策の参考とするため、原文の趣旨を損なわない範囲で掲載しています。多様な意見を把握するという調査の性質上、中には読む方によって様々な受け止め方をされる可能性もある表現も含まれておりますが、これらは大東市の公式見解を示すものではありません。

問28 差別や人権侵害を防ぐためのマニュアルやガイドライン・啓発リーフレットに記載してほしい内容がありましたらご自由にお書きください。

問28については、54件の記入がありました。その記入内容を紹介します。

- SNS等での言葉の選び方（正しい言葉の使い方）を説明があった方がよい。（男性、30～39歳）
- アメリカ人とか、日本人、イギリス人や中国人などの国籍で人を分けず、全員一人の人間であり大切な存在だという認識を多くの人に持ってほしい。（男性、18、19歳）
- いじめを犯罪扱いにしてほしいです。それでだいぶ差別や人権侵害はなくなると思います。暴言暴力はダメだと言うことをもっと広めてください。（女性、20～29歳）
- これまで生きてきた環境や立場の違いで、感じ方が大きく異なることは有って当然のこと。すべて理解しあうことはできなくても、理解しようと思う心を持ち続けることが大事。そのためにも、いろんな環境の中で強く生き続ける人たちの現実が少しでも知れるエピソードや体験等を紹介していただきたい。（男性、60～69歳）
- 外国人の方を最近すごくよく見かけます。自転車の2人乗りをしています。日本のルールはどなたが教えるのでしょうか。外国人の方への日本のルールはこうやって伝えていきますなど記載してほしいです。（女性、30～39歳）
- 具体的に差別や人権侵害があった場合、どのように法的に対応することができるのか周知すればよいと思います。差別・人権侵害を行う加害者側は法に触れると思っていないため（加害者側からみると）ノーリスクで目的（差別等）を行えると（無意識のうちに）考えて行動していると思われます。リスクがあると認識させることによって行動を抑止することができると思います。（男性、40～49歳）
- 個人的な意見として子どもでもわかりやすいようにもっと知ってもらうためにマンガでマニュアル、啓発リーフレットを作成した方がよいと思います。（男性、40～49歳）
- 差別・人権侵害を防ぐために、社会、特に学校や会社などにそのために関するDVD・映画を視聴させたり、実際にそのことで被害にあった当事者の方を迎えて講演をさせていくことも差別・人権侵害防止につながるのではないかと思います。（男性、40～49歳）
- 市が差別・人権侵害について活動している内容を公開してほしいと思う。（男性、30～39歳）

- 私の周りには特にこういった問題に対して関心を持つ人がいません。おそらくあてはまるような者がいないので考えることも少ないと思います。こういったことにより私個人の意見はおそらく偏ったものです。マニュアルやガイドラインが偏ったものでは見ることで思想がどちらかに寄ってしまうでしょう。なので下記は入れてほしいです。①差別とは何か（個人としてはそもそも差別などあってはならない）その定義を明確にする。②中立の意見。Aを尊重することがBに発生する負担。その逆を記すべきです。（男性、30～39歳）
- 私も含めてですが、身近に人権問題を抱えている人がいないので自分のことのように考えられないのかも。もし自分がこういう立場になったらという問題提起が必要だと思います。（女性、60～69歳）
- 実際に差別や人権侵害を受けた経験がある人の体験談、解決策、事後等、生の声を聴きたい。また、参考にして今後役に立ったり知人等に啓発できればと思っている。（男性、50～59歳）
- 障害と病気の区分が難しいかもしれないが、治療中の人への配慮も盛り込んでほしい（ヘルプマークがすぐに手に入らないので）。（女性、50～59歳）
- 障害のある人に関する特集を見ていると主に身体障害がある人を中心に特集を組まれていると感じることが多々あります。身体に障害がある人に関して知ることも大切ですが、同じように目に見えない障害を抱えている人（知的障害、発達障害、精神障害を持った人々等）に関して知ることも大切だと思います。（女性、20～29歳）
- 人権ビジネスの根絶。人権で銭儲けをするなどという啓発が必要。（男性、40～49歳）
- 特にSNS、インターネットでの人としての責任問題を一人ひとりが考えられるような啓発。（男性、60～69歳）
- 人権問題に対して住民一人ひとりができることをパンフレット等に記載していただけたらいいと思います。住民全員で解決しないと良い方向には進まないと思う。（男性、30～39歳）

（他37件）

問29 人権問題についてのご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

問29には97件の記述がありましたら。その内容から次のように分類しましたが、1人の方が複数の事柄を記入している場合もあり、その延べ数は146件でした。

1 女性の人権

- 某病院で看護師をしています。医師と男性看護師のセクハラが本当に多いです。でもみんな立場上言えません。セクハラ担当の人に相談しても無駄です。もちろん病院としては看護師よりも医師が貴重なので医師を守ります。こんな状況を打破するにはセクハラへの訴え、即解雇くらいしてくれないと無理なのかと思います。(女性、30～39歳)
- 男女差別はいろいろな場面で感じます。たとえば大東市の区長さんは男性ばかりとか。(女性、80歳以上)
- 差別と区別は分けてほしい。男性の方が体力的に仕事に向いている、女性しか子どもが産めないなど身体的にできることが違うのに近年男女平等を謳いすぎていると思う。事実として子どもが産めるのは女性だけなのに完全に男女平等にすることなんてできないと思う。(女性、30～39歳)
- 私自身、性被害者であり、人権を侵害された気持ちに幾度となくなってきました。そのことを相談しても最終めんどくさく思われたり、特に男性はそういった被害に合った人の気持ちを踏みにじるような発言をしがちだと思います。黙って我慢しろというのは人権侵害なのではないかと思います。過去のいろいろな被害のせいで心身ともに疲弊していて、死を選んだ方が楽だと思えるほどに嫌な思いばかりしてきました。それでも普通に働こうと努力しています。でも、酷い扱いを受けることが多いです。大人になっても虐められます。それ自体が差別だと思いますし人権侵害だと思います。私たちには人権がないのでしょうかと思うようなことが毎日あります。どうか、もっと真剣に考えて対策してほしいです。(女性、20～29歳)

2 障害のある人の人権

- 障害者の人でも住みやすく働きやすいように社会全体でハンデのある人に対して理解あるようになってほしいと思います。(男性、18、19歳)
- 障害があっても（目に見えないもの）に対して偏見を持たない。受け入れてあげること。それで知って対応が変わるとか（距離をつくる）などはやめてほしい。(女性、30～39歳)

(他1件)

3 外国人の人権

- 外国人が身近にいますが必ずしも良い人ではなく（もちろん良い人もいますが）文化や考え方が違い過ぎてこちらが困ることも多いです。少数の人々の人権も大切ですが、まず元々の住民も大切にしてもらえないと、少数の人のことなど誰も考えられないと思います。（女性、40～49歳）
- 外国籍より日本の人権のあり方を考えてほしい。外国人の方が日本で住みやすくなっている。一方、日本人は住みづらい世の中に変わっていつている。（男性、40～49歳）
- 日本人が外国人に人権を侵害されるというケースについて対策は考えられているでしょうか。今後増加すると思います。（男性、40～49歳）
- テレビでは放送されないことも多いので、X、YouTubeで本当の政治事情、外国人受け入れなど調べて勉強しています。（女性、20～29歳）
- 「日本人ファースト」など、外国人排除の風潮が広がりを見せています。大東市でも多くの外国人の人たちが働いていると思います。そういう人たちが安心して生活できる大東市であってほしいと思います。（男性、60～69歳）

（他2件）

4 部落差別（同和問題）について

- 差別はしないように話そうとしたときに、子どもは部落のことを知りませんでした。「何言ってるの」といわれました。何も知らなくて問題にもしていないなら、それもなくなる一つではないかと思えます。まだ差別があるのかと思いました。（女性、70～79歳）
- 部落差別について。人権教育の一環として同和教育を行っているとのことですが今の時代にもう触れなくてもいいのではないかと思います。（女性、60～69歳）
- 部落差別についてはよくわかりません。昔のことではないのかとの思いがあり、このように取り上げるから逆に調べて差別のようなことが起こるのではないかという気もします。難しいです。（女性、40～49歳）
- 同和問題に関して敏感に取り組めば取り組むほど差別問題、差別化が増進、増大してるようにならない。われわれ中高年はよく理解認識していると思うが、児童生徒はそこまではなくなっているのではないか。大東市が人権や障害に関して他市より進んでいるのは素晴らしいけど一生懸命すればするほど逆に仇となっていないか。もう少し力抜いて取り組めば良いのではないのでしょうか。（男性、50～59歳）
- 部落差別についてですが、その人たちが今でも特別扱いをされているのは他のところから引っ越してきた人からしたら、とても奇妙です。学校教育でも部落差別を学習として取り入れているのは、それこそよくわかりません。人権問題の学習は必要だとは思いますが、偏ったものではなく、家、学校、職場の人間関係に悩む人の手助けとなるような発信をしていってもらえると、大東市の活性化につながると思えます。（女性、40～49歳）

（他2件）

5 子どもの人権

- 私自身子どもの頃にいじめにあったことがあり、子どもたちのいじめや自殺が減らないことに心を痛めています。現在はネットやSNS等でいじめが増長されており、状況が悪化する一方で、いじめられている子どもは逃げ場所がなく追い詰められていく一方です。いじめられている子も悪いという意見もありますが、いじめられている子はまったく悪くありません。いじめる方が悪いです。そういう風潮もいじめがなくなる原因だと思います。子どものいじめ問題は切実に取り組んでいただきたいと思います。(女性、50～59歳)
- 子どものいじめも見た目や行動だけで何の非もない子をいじめるのは言語道断ですし、いじめること自体は確かに悪いことでしょう。ただ、いじめられた側の子と親が必要以上に騒ぎ立て、学校側も理由も聞かずにいじめた側を一方的に責め立てて、結果どちらが被害者かわからなくなった事例も見えています。(男性、60～69歳)

6 インターネット上の人権

- SNS、インターネット上での根拠のない無責任な発信、営利目的（広告収入など）とした発信の制限、偽善的または愉快犯的な情報発信の制限など利便性だけに偏らない適切な法体制を模索してほしい。(男性、60～69歳)
- 特にSNSになると顔も名前もわからない匿名の状態ですら自由に投稿ができることによって自分の人権は守られるが、投げかけている相手の心を傷つけるようなことは許してはならず、投稿する際にも「この言葉は使えません、投稿不可」というようなことも作らないといけなくなってきていると思う。そのような投稿によって自殺が起きていることもあり、それから逃げるかのように投稿を消すこともあると聞いていて、ひどいなと思っている。スマホが日常生活にあるとはいえ表現の自由というのを悪用されているような世の中にあるので、様々に対処することが必要だと感じている。(男性、30～39歳)
- 無意識に発言したことが実は相手にとってはとても傷ついたり、人権侵害だと思われることもこの世の中少なくはありません。今やネット社会で正しい情報だけでなく偽の情報もたくさんあり、誤った情報を自分で考えないでそのまま鵜呑みにしてしまっている人が多いようにも思えます。だからこそ人権問題を解決するためにもまずは自分で調べてみたり、あるいはそれに関する講演会などへ足を運んでみるのがとても大切であると感じます。自分自身もまだまだ人権問題について正直知らないことはたくさんありますが、自分でも調べてみようと思います。(男性、18、19歳)

7 性的マイノリティの人権

- 性的マイノリティについても言わせてください。生物はオスがメスのどちらかなのです。この二つ以外にはありません。ですから、同性で恋愛するのは勝手ですが、法律で婚姻を認めたり、男女の夫婦間で適応される公の決め事が適用されるのは、まったく容認できるものではありません。結婚したら夫の姓に限らず、どちらかの姓を名乗ればよいのです。特別な事情を除いては、とにかく一家族一姓です。選択的夫婦別姓制度、そんなものを認めたら日本が日本でなくなります。(男性、60～69歳)
- マイノリティなことについて、社会的弱者と言われる人たちが権利を主張してそれを一般の人に押し付けてきたらそれは弱者ではなくなると思いますので、そこに気を遣いすぎるのは違うと思います。セクシャルマイノリティの方々も同じように思います。気を使いすぎて、逆に社会的立場が強くなります。小学生の授業で、みんな違ってみんな良いという詩の一節がありました。それでいいと思います。違うのだから差が生まれるのは仕方ないことだと思います。(女性、30～39歳)

8 差別や人権侵害全般について

- 差別や人権侵害は無意識に、時に善意をもって加担してしまう可能性のあるものなので、それを知ってしまったときに自尊心を保とうとするために理解することを拒絶したり、自分の行いを正当化するために歪んだ論理を形成したりすることがあります。これは人間という生物が生きていく上で必要な防衛反応なので、このことを単純に否定するのではなく本人に受け止めてもらうことが大切です。そのために心に余裕を持つことが何よりも重要だと思います。またそれは差別や人権侵害だけでなく現代社会が抱える様々な問題を正しく理解し受けとめるために、必要であるが疎かにされがちな前提条件だと思います。(男性、20～29歳)
- 最近、「差別」と「区別」の違いはどこからなのかと考えさせられることがある。(女性、20～29歳)
- 3年前からグランドゴルフをやっていますが、地域でない人が入ってくると拒みます。これも差別ではないでしょうか。みんな楽しく遊んでいればいいと思います。間違っていますか。(女性、80歳以上)
- 人間はどうしても上下をつくる場所があるので、もっと人はひとりで生かされないので倫理観を身に付けて常に周囲人が大切だと思います。自分が大切と思えば、人様も自ずとして大切だと思いやりがわくと思います。感謝とありがとうで行きたいと思います。難しいと思いますが何かにつけても差別や人権侵害はなくなると思います。どこの国もあるし、どう人と向かうのが生きる道かを学んでいくことと思いました。(女性、80歳以上)

(他8件)

9 人権啓発活動について

- もっと周知した方がいいと思う。SNSをうまく活用するなり、人が集まりやすいところに大きなポスター、目立つようにしたら良いかなと思います。(女性、30～39歳)
- 回答する中で知らないことがたくさんありました。知らない若者はたくさんいると思います。若者がよく使うSNSをさらに活用して、多くの人が人権問題を認知し考えていける社会になればいいなと思いました。(女性、20～29歳)
- 様々な立場の人々がいるので継続的に人権について日頃から考える必要がある。行政の人権問題の啓発活動が多くの人々に対話のきっかけを与えらると思う。(女性、20～29歳)

10 人権教育について

- 「ただ差別等はいけません」というだけではなかなか変わらないと思う。学習の場でこんなことをしたり、言ったりしたら相手はどう思うなど深く掘り下げて考え合う機会を積み重ねていくのも一つの方法だと思います。(女性、80歳以上)
- ある程度年を取ってしまうと偏見や差別感情をなくするのは難しいので、未来を担う子どもたちが柔軟な考えを持ち、人権問題を自分のことと捉えて世の中をより良くしていけるようになれば良いと思います。(女性、40～49歳)
- こういった人権問題を考えるとき、やはり大事なものは教育ではないかと思います。学校だけでなく親から子へ社会に出て先輩や上司から部下へ伝えていくものと思います。思想の分断はやがて社会の分断を生み、大きな問題になっていると思います。ですので「教育」を見直すことが先決ではないでしょうか。(男性、30～39歳)
- 部落差別、同和教育として差別を考えるのではなく、みんな同じ人間としてあってはいけないこと、やってはいけないこと、心や身体を傷つけてはいけないことを道徳として、生きていること、生きていくことを考えていかなければいけない。みんな一人ひとりそれぞれ大切な命をひとつずつ持っている。それは皆同じ。(女性、60～69歳)
- 子どものころ「道徳」の時間に差別の教育を受けた記憶があります。はっきり言ってほとんど覚えておりません。身近に差別がなかったからだだと思います。私たちの子どものころは障害のある子どもがクラスや学校にいたならば先生を始め周囲の私たち(子ども)が本当にしっかりと手助けをしていたと思います。親だけではなく、近所や周囲の人々で障害のある子どもを育ててきました。現在は難しいので、わざわざ啓発や発信をしてみんなに関心を持ってもらい手助けを募らなければならないのでしょうか。外国人の方の問題にしろ、マイノリティその他もみんな関心がないのでしょうか。(女性、50～59歳)
- みんなが共通して知ることができるのは教育の場だと思うので、小さな頃からそういった情報を嘘なく得られたらと思います。(女性、20～29歳)
- 差別は普段生活する中では意識しなくても自分に直接かかわってくると頭をもたげてきます。小中高で学習することは大切だと思います。(男性、60～69歳)
- 私は大東市で育っていないが、育った町にも部落があり、小学生の頃から学習時間がありました。大東市も同和地区があり、同じような町であり、小学生から学びの機会があり、良いことだと思います。小さい時からの学びが大事だと思いますので、継続してほしいです。(男性、50～59歳)

- 小学校や中学校できっと系統立てた人権教育を行っているのだろうと思っているが、知る機会がない。もっと知りたいし、知ったうえで家でも話ができたらと思う。(女性、40～49歳)
- 成人をしてから間違った情報を知ることが多いかもしれません。小中高の時代に正しく人権教育を受けることが必要。「正しく」の形式が議論されることを願います。(女性、60～69歳)
- 大東市内の私立小学校に子どもが通っていますが、学校からは特に差別問題について習っていない様子です。学校で学ぶ機会があれば良いのと思います。(女性、30～39歳)
- いろいろな人がいるということを知ることが大事だと思うので、マニュアルやガイドライン以外に見聞きすることができる機会を義務教育の中でまずはあれば良いと思います。(女性、20～29歳)
- 正しい情報を正しく知ることが大切。小さい頃幼少の頃から多様な人が住む社会が当たり前で差別をすることはいけない、おかしいことと知っておく必要がある。すべての小中学校で人権教育を行う。そして人権教育を行わなくてもよい差別のない社会になることが理想です。(女性、50～59歳)
- 言いすぎると偏見が生まれ、言わないと知らずに差別が生まれる。知ることは大切ですが、どこまでやるべきかととても難しい問題だと思います。(女性、40～49歳)

(他2件)

11 行政への要望

- 残念ながら教育現場で教師からの人権侵害が大東市でもあります。多分、「知らない」から無意識に発言している言葉だと思うが、それが人権侵害になっていると当事者は思っている。市民に対して人権啓発をする前に、すべての市の教職員に対して、立派な大人に対しての人権教育が本気でやってもらいたい。学校の先生が忙しすぎて、世間の新しい法律をよく知らない。よく知る時間がないのだと思う。先生たちにこそ、法律を学ぶ時間が必要。先生の言葉で悲しむ子どもがいないようにしてほしい。そして、市役所にも専門の法律家である弁護士を職員として雇ってもらいたい。(女性、50～59歳)
- 大切な問題だが、上から目線はやめてほしい。こうあるべきという、法律や条例を振りかざした「べき論」もやめてほしい。このアンケートも設問が恣意的でありまた教条的だ。差別を助長する人たちは多くの場合、自分の生活に不満がある人だ。幸せに生活できれば差別は減るだろう。行政は人権問題に関しては日々の市民の豊かな暮らしづくりに注力することが解決に近づくと考えてはどうだろうか。ちなみに大東市の行政に関しては、多方面に目配りができていて、良く頑張っていたいただいていると感謝している。(男性、70～79歳)
- 大東市長および市の関係者には、あらゆる差別に反対する姿勢を明確に示してくれることを期待します。(男性、30～39歳)
- 娘がインターナショナルスクールに通い始めて海外の文化が身近に感じるが増えたように思います。自身の子どもたちはもちろんあらゆる境遇の人が暮らしやすい環境があるのは多くの人にとってメリットにつながるように思います。今後の大東市のまちづくりや人権に関する意識をより高めていってもらえたらうれしいです。(女性、30～39歳)

(他6件)

12 アンケートについて

- このアンケートの結果報告と今後の対策についての説明を市民に公開していただきますよう
よろしくをお願いします。(男性、30～39歳)
- この大東市の人権に関する意識調査ですが、今回なぜ2,300人と厳選したのですか。調査をす
るのであれば大東市民全員に時間をかけてでも調査すべきでは。それも人権差別にあたると思
いました。(女性、40～49歳)
- すべての人がアンケートの内容がわかるように、ひらがなをすべて付けてほしかった。アン
ケート内容がわかりにくかった。(女性、40～49歳)
- 質問が難しくてよくわかりませんでした。すみません。(女性、70～79歳)
- 質問内容について「場合によるな」と思うことが多かったので、1～5に○を付けるのが難
しいと感じた。○は付けたが後から違うのではないかと考えることが多かった。生まれ育っ
た地域によって差別の種類も違うので、自分にはこの問題に疎いと考えさせられた。(男性、
40～49歳)
- 40年以上前に人権問題を知り学習したことがあり、近所でもいろいろ若い時教えていただい
た時よりましになってきたと思いますが、まだまだいろんな人権問題があるんだと思いまし
た。(女性、60～69歳)
- 今回のアンケートでもしかしたら、自分が無意識に発してる言動や行動が人権侵害してい
るかもと思った。(男性、60～69歳)
- 人権問題についてあまり考えたことなかったです。このアンケートを通じて少し興味をもつ
ようになりました。少しでもみんながやさしくなれる世の中になりますように。(女性、50～
59歳)
- 人権問題についてこのアンケートを通じて自分でも考える良い機会になりました。自分たち
の身近にある人権問題に対してどう向き合っていくかがこれから生きていく上で大切なこと
だと私は思います。(男性、18、19歳)

(他5件)

13 その他

- もっとたくさんの人々が人権について知り、差別のない世界になってほしいです。(女性、20～29歳)
- 一人ひとりの「支え合う心」と行政で誰も置き去りにしないやさしい社会になればいいなと思います。(女性、60～69歳)
- いつでもどこでも人々が真心と思いやりを持って助け合って生活できるようになりますと、良い社会になると思います。(男性、70～79歳)
- 基本的な判断基準として、差別・分断は『悪』、理解／尊重・連帯は『善』であると思います。(男性、60～69歳)
- 個人の人権ばかり言わず社会的義務も伴うと(性別無回答、80歳以上)
- 今の時代差別はないのではと思います。(女性、20～29歳)
- 差別なく皆さん幸せに暮らせます様に(女性、50～59歳)
- 市役所に出向くと必ずパンフの棚で勉強するものがあればいただいて帰ります。日々様変わりが激しい世の中ですが、人権活動には力を入れてください。今回調査されていることは大いに参考になります。頑張ってください。(女性、80歳以上)
- 人権問題についていろいろ思うこと考えさせられることはありますが、正直自分の周りに関係ないと行動に移せないと思います。そういう人でも簡単に行動できるような取り組みを考えていただければいろいろなことに参加したいと思います。今回の意識調査で少しでも問題を解決することができればいいなと思います。(女性、50～59歳)
- 人々がお互いを尊重し、寛容な心で対応し合うことでより良い社会を創り出すことが大事だと考えます。問題点より解決策の提案をより多く望みます。(男性、50～59歳)
- 未来永劫、人権問題はなくならないと思うが、一人でも多くの人々が人権問題など社会生活におけるモラルを意識できる人が増えればいいと思う。(男性、50～59歳)
- 障害や学習障害などの個性や特性を認め合い、お互いの良いところを探しあえる世の中にしていきたいです。(女性、50～59歳)
- 人それぞれの人格はわかりませんが同じ人間です。年齢や男女の差はあっても温かい気持ちで接したいものです。(女性、80歳以上)

(他50件)